

生涯学習ニュース

今月は乗馬公園からのお知らせです

いろいろな乗馬活動 〜乗馬のすすめ〜



乗馬は競技や健康づくりを目的として馬に乗るだけでなく、馬とふれあうことで情操教育や心身の癒しの効果が得られるスポーツです。

様々な分野で

軽種馬産業が基幹産業のひとつである浦河町では、スポーツ・教育・福祉・観光など幅広い分野で「乗馬」が行われています。

スポーツ分野では、特に競技を目的とした活動と健康づくりなどを目的とした活動があります。

競技を目的とした活動は、主にJRA日高育成牧場で行われています。浦河高校馬術部、乗馬スポーツ少年団（小学校5年生〜中学生）や自分の牧場で競馬を所有して練習している方など、多くの方が国体障害飛越競技などの全国大会を目指して活動しています。



町民乗馬大会

浦河小学校

校長 奥村 尚久
児童数 165人

「137年目の歴史を刻む」

本校は明治11年の開校以来今年度で137年目を迎えました。現在の学校教育目標は『自ら学び 心豊かに 自分の夢や希望の実現に励む子の育成』です。この目標の具現化のため、目指す子ども像として「かこい子」「心豊かな子」「たくましい子」「知・徳・体の3点を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。

分ける楽しい授業づくり」につながる授業改善に取り組んでいます。また、各

「かこい子」を育てるためには、毎日の授業が子どもたちにとって「そうか、なるほど」「もっと解いてみたい」といった魅力的なものでなくてはなりません。そのような授業を目指し、研修テーマ「確かな学び 豊かな心の 創造（生き生きと学べる授業づくりの探求）」のもと、全教職員が一丸となり、研修を行っているところです。



また、各学年の発達段階に合わせた浦小版「家庭学習のすすめ」を全家庭に配布し、学校と家庭が連携して学習習慣の確立に努めます。

「心豊かな子」を育てるために、今年度も北海道道徳推進校の指定を受け、道徳教育の充実に努めています。また、児童会集会・全校朝会・掃除などの日常活動を活用した「縦割り班活動」も「心豊かな子」の育成を目標としたものです。

そして「たくましい子」の育成として、体力づくりはもとより、食に関する教育や命を守る教育についても取り組んでいます。

今後子どもたちの健やかな成長を目指し、浦河小学校の歴史を日々刻んで参ります。



学校だより 学校だより 学校だより 学校だより 学校だより 学校だより 学校だより



ポニー少年団の活動

健康づくり・体力づくり・仲間づくりを目的とした活動は、主に乗馬公園で行っています。多くの町民の皆さまに、乗馬の楽しさを知ってもらうための「初心者乗馬教室」の開催や経験者の乗馬団体の活動をサポートしています。

教育分野では、幼稚園・保育所の「体験乗馬」、小学校の「乗馬学習」や「厩舎作業体験」、中学生・高校生の「職場体験」など、情操教育や地域産業を理解する学習活動を行っています。このような取り組みは、東部小学校や野深小学校の6年生のように、一人で馬を動かせるようになります。成果があります。

また、高い視線からの眺めや動きにより、爽快感や「乗った」という自信の向上が見られるとともに、馬とのふれあいやサポートするボランティアとの「コミュニケーションをとる」ことにより「心身を癒される」といった心理的な効果もあります。

観光の分野では、5分程度の「体験乗馬コース」や、1時間程度自然の中を馬に乗って散歩する「ホーストレッキング」が優駿レジャエルで行われてお



高齢者の方の乗馬

福祉分野では、乗馬療育を取り入れている「浦河わらしべ園」を中心に、高齢者や障がいを持つ方の体力増進や機能改善のプログラムが行われています。利用者からは、乗馬後「姿勢がよくなり、体が柔らかくなり歩きやすくなった」との声が多く聞かれます。

乗馬のすすめ

り、多くの観光客の方が馬とのふれあいを楽しんでいます。また、町内のイベントでは、JRA日高育成牧場の協力により「ポニー馬車体験乗車」「体験乗馬」などを行い、子どもたちや観光客の方に好評を博しています。

このように浦河町では、様々な形で年齢や体力に関係なく「いつでも」「誰でも」「気軽に」乗馬を楽しむことができます。

初めて馬に乗ると、視線が高く、揺れることで、バランスが上手くとれず全身に力が入ります。しかし、数回乗ると馬の動きに慣れて、力が抜け安定して乗れるようになります。次に操作方法を学び、馬が指示通りに動いてくれると「大きな動物を動かせた」という達成感が生まれてきます。

乗馬や馬とのふれあいを通して、心身の癒しを感じてみませんか。

【お問い合わせ】
浦河町乗馬公園

☎0146-28-1304

浦河東部小学校

校長 阿部 秀智
児童数 79人

「百聞は一見にしかず」
可能な限りの体験を

本校では「学びを深める東部小の子の育成」の学校経営方針のもと、可能な限りの体験を、各教科や学習活動に取り入れています。

【枝打ち体験】5年生の宿泊研修で行っています。日高振興局森林室・町との連携をし、町有林で行っています。健康な木を育てるためには枝打ちや木の管理が必要であることを学んでいます。



総合的な学習の「森作りから環境を考える」へつながる大切な体験となっています。

【搾乳体験】杵臼の体験農園「リチェズビルズ」で実際に乳牛からの搾乳を体験しています。普段飲んでる牛乳が、たくさんさんの手で作られていることを学びます。

【アーチ橋製作体験】地域貢献の一環として、手塚組に授業を行ってもらっています。

4年生の国語の教材「アーチ橋の進歩」で学んだ内容を、実際に体験してみる学習です。レンガと砂で自分たちが造った橋を渡った時は、歓声が上がります。



【生活・社会科見学学習】各学年で行われている見学学習。本校では、列車や路線バスを使って、目的地に行く学習も実施しています。普段なかなか利用することのない交通機関に自分で乗ることも大切な体験学習。切符を買い、目的地まで行った学習は、子どもたちの印象にとっても深く残っているようです。

これからも本校は、教科や学習活動の中に、可能な限り実際に見て体験する学習を取り入れ、幅広い教育活動をしていきます。